

# 富永照子屋NEWS

2022. 4. 1

(お子さんが大人になったとき、社会で活躍できるヒントがいっぱい)

## 廃れた町を蘇らせた伝説の女将

～「勇気」「やる気」「元気」でなんとかする！！～



今や日本を代表する観光地として、日々多くの修学旅行生や観光客で賑わう浅草。「雷門」はその象徴として、国内外でもよく知られています。

戦後から演芸などで栄えていた浅草でしたが、実はずっと賑わっていたわけではありません。1,960年以降は一気にゴーストタウンと化してしまうのです。

そんな危機を救うべく、再び観光地としての輝きを取り戻すために奔走したのが、伝説の女将と言われる富永照子さんです。

1,937年浅草に生まれた照子さんは、ガキ大将と言われるような、わんぱくな幼少時代を過ごします。その後も浅草で育ち、現在は浅草手打ちそば店「十和田」の4代目女将をされています。

先述の通り、戦後は映画館や劇場に足を運ぶ人で賑わっていた浅草。芸人は浅草の宝と考えていた照子さんは、当時お店の食事券を作り、

「みんなおなか減っちゃダメだから、これで食べな！！」

と言って、売れない芸人達に配っていたそうです。芸人達にとって「浅草の母」だったそうです。

しかし1,960年あたりからカラーテレビが急激に普及し、今まで映画館や劇場に足を運んでいたお客さんが、家でテレビに夢中になり始めました。

さらに追い打ちをかけたのが1,964年開催の東京オリンピックです。新幹線や高速道路のインフラが整ったことで、人の流れは「新宿」「渋谷」へと変わっていきます。

その結果、浅草は3K(暗い・怖い・汚い)と呼ばれるゴーストタウンと化したのです。

「このままだと子供たちにいい浅草を渡せない。

私は浅草でとても幸せに育った。その恩返しをしたい」

そう思った照子さんは、1,967年に『浅草おかみさん会』という協同組合を設立します。これが、廃れてしまった浅草を蘇らせる伝説の始まりとなったのです。

# 10万しかないのに、3,000万の衝動買い！！

まずは浅草の観光案内図を作ろうと思った照子さん、しかし何か目玉になる物が欲しいと考えました。そこでお客さんが話していた「ロンドンの2階建てのバス」に目をつけます。これだ！！と思ひ、早速3,000万でバス2台の購入を決めます。

・・・が、手持ちのお金はたったの10万。

どうすれば残りのお金を工面できるのか・・・。普通なら不可能だと諦めてしまいそうなものですが、照子さんは違いました。

浅草の商店街のお店に声をかけ、商店街全体でビールを販売強化したのです。その結果ビールの売り上げは激増、バスの側面に広告を掲載する条件で見事ビールメーカーがスポンサーになってくれ、3,000万を工面することに成功したのです。

何とか2階建てバスを手に入れた照子さんですが、次なる問題が発生します。

なんと2階建てバスなど存在しなかった日本では、高さ制限の問題でバスを走らせることができなかったのです。こればかりは・・・と誰もが思いましたが、照子さんは驚きの行動に出ます。

なんと、運輸省(当時)の運輸大臣に直接交渉に行ったのです。しかもあっさり許可をもらい、無事ロンドンバスを走らせることができるようになりました。

それからもち前の行動力でどんどん浅草復活プロジェクトを遂行していきます。

毎年本場のサンバのカーニバルを呼んだり、ニューオーリンズジャズを呼んだりして、浅草に人を集めました。

しかしイベントごとは一時の集客で終わります。そこで勝負に出たのが商業施設の誘致です。今回必要な費用は30億。ロンドンバスの時とはケタがちがいます。

さすがに良い方法が思いつかず、諦めようかと考えていた時、1人の男性が照子さんを訪ねてきます。

ホテルニューオータニの元社長、大谷米一さんだったのです。浅草出身の大谷さんは、浅草のために奔走する富永さんの手助けをしないと訪ねてこられたのです。

あまりのタイミングの良さに驚きながらも、照子さんは大谷さんに商業施設のプランを伝えたところ、「ぜひ、力になりましょう」ということで、見事9階建ての「浅草ROX」の誘致が実現することとなったのです。再び浅草には多くの人を訪れるようになりました。

お金や学歴があったわけでもない彼女になぜここまでのことができたのか？それは、「昔の賑やかな浅草を復活させる」という強い思いがあったから、常識では考えられないほどの行動力に繋がったに違いありません。

そして新しいことを考えるごとにネックとなったお金の問題は、彼女の「人情」に魅せられた人々の助けで次々とクリアできたわけです。

ゴーストタウンと化した浅草を見事に復活させたのは、お金持ちでも高学歴なビジネスマンでもない、ただただ強い思いを持って行動を続けてきた蕎麦屋の女将でした。

## これからの時代に必要なことを教えてくれた照子さん

照子さんの話をまとめる中でキーワードとなるのは「**行動力**」と「**人情**」です。

彼女は「廃れた浅草を蘇らせる」という正解のない目標に向かって、様々な案を考え出していました。しかしそれらは、普通に考えれば「実現は無理では？」というようなことばかりでした。

彼女は「普通に考えて実現が可能」なことをしたところで、浅草の復活には繋がらないと分かっていたのでしょう。なので 3,000 万のバスを買う、30 億の商業施設を誘致するという、実現が難しそうな案（手段）を決めてから、それを実現できる方法を考え必死に行動に移したのです。

またそんな彼女の姿に魅せられ、力を貸してくれる人がどんどん集まり、結果、伝説と言われるような浅草の復活劇を成し遂げたのです。

時代が令和になり、AI が普及し、人口もどんどん減り続けると予想される日本。今までの成功事例や常識が全く通用しない時代に、すでに突入しています。

2020 年より小→中→高の順に学習指導要領が改訂されましたが、今回のテーマは

### 『 生きる力 ～学びの、その先へ～ 』

です。こんな時代に道を切り開いていく生きる力とは、まさに照子さんが教えてくれた「**行動力**」と「**人情**」ではないでしょうか？

**まずは自分の得意分野で行動に移していく、そして自分の得意でない分野は人に助けをもらえば良いのです。魅力のある人には、必ず手を差し伸べてくれる強力な味方が現れます。（見ている人は、見ているのです）**

私たちは、初めてのことでも臆することなく行動に移せて、そして「この人が困っているなら手を差し伸べよう」と思われるような、魅力ある人を育てていきます。

# あなたは『<sup>こうどう</sup>まず行動する』こと、<sup>でき</sup>できますか？

どんなことであろうと、<sup>しっばい</sup>失敗するのって嫌ですよ。でも<sup>しっばい</sup>失敗を<sup>おそ</sup>恐れていたら、<sup>なに</sup>何も<sup>たいせつ</sup>できません。大切なのは「<sup>こうどう</sup>まず行動すること」です。

## 『<sup>こうどう</sup>まず行動する』ことが<sup>せいこう</sup>成功への<sup>いちばん</sup>一番の<sup>ちかみち</sup>近道

「うまくできるかなあ・・・」「<sup>しっばい</sup>失敗したらどうしよう・・・」<sup>ものごと</sup>なにか物事に<sup>と</sup>取り組むとき、<sup>ふあん</sup>不安な<sup>きも</sup>気持ちになることは<sup>だれ</sup>誰でも<sup>おも</sup>あると思います。

ただ、<sup>かんが</sup>考え<sup>だ</sup>出したら<sup>まいなす</sup>どんどん<sup>いめーじ</sup>マイナスな<sup>ふく</sup>イメージが<sup>こうどう</sup>膨ら<sup>うつ</sup>みますし、<sup>むつか</sup>そう<sup>なると</sup>なると<sup>こうどう</sup>どんどん<sup>うつ</sup>行動に移して<sup>むつか</sup>いくのが<sup>むつか</sup>難しく<sup>な</sup>ります。

みなさんは、<sup>せいこう</sup>成功への<sup>いちばん</sup>一番の<sup>ちかみち</sup>近道<sup>し</sup>を知っていますか？それは、

『<sup>かんが</sup>あれこれ<sup>こうどう</sup>考えず、<sup>こうどう</sup>まずは行動する』

ことです。<sup>たし</sup>確かに<sup>こうどう</sup>行動に移せば<sup>しっばい</sup>失敗することもある<sup>たし</sup>かもしれませんが、<sup>こうどう</sup>行動を<sup>く</sup>繰り返して<sup>かえ</sup>いれば、<sup>しっばい</sup>失敗の<sup>げんいん</sup>原因など、<sup>わ</sup>分かって<sup>くる</sup>ことも<sup>た</sup>くさんある<sup>ので</sup>ので、<sup>せいこう</sup>どんどん<sup>ちか</sup>成功に<sup>ちか</sup>近づいて<sup>い</sup>きます。<sup>しっばい</sup>失敗を<sup>おそ</sup>恐れて<sup>こうどう</sup>行動に移せ<sup>な</sup>ない<sup>よ</sup>よりも<sup>なんばい</sup>何倍も<sup>まし</sup>マシ<sup>な</sup>のです。

<sup>なにごと</sup>何事も、<sup>かんが</sup>あれこれ<sup>こうどう</sup>考えるより<sup>こうどう</sup>まず<sup>いしき</sup>行動！<sup>いしき</sup>意識<sup>し</sup>してみてくださいね。



「<sup>ゆうき</sup>勇氣・<sup>き</sup>やる気・<sup>げんき</sup>元気！！<sup>しっばい</sup>失敗を<sup>おそ</sup>恐れて<sup>ものごと</sup>いれば、<sup>すす</sup>物事は<sup>すす</sup>進まない。」

<sup>とみなが</sup>富永 <sup>てるこ</sup>照子 <sup>あさくさ</sup>～浅草を<sup>よみがえ</sup>蘇らせた<sup>でんせつ</sup>伝説の<sup>おかみ</sup>女将～

<sup>じぶん</sup>自分の<sup>へや</sup>部屋の<sup>めだ</sup>目立つ<sup>は</sup>ところに<sup>よ</sup>貼って、<sup>かえ</sup>読み返す<sup>よう</sup>に<sup>し</sup>しましょう。